

泉の自治だより

題字 安藤恭彦会長

No. 68
 発行所 泉町連合区会
 発行責任者 連合区会長 安藤恭彦
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中寮町
 TEL 55-3653
 編集部長 今井敏美



水仙
 木彩会
 熊沢こなみ

泉町が防犯指定地域に！

町民全員で犯罪を未然に防ぎましょう



岐阜県議会議員
 矢島成剛

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、各区各町での課題はそれぞれ沢山あることと思いますが、県議の立場で泉町の大きな課題を挙げるとすれば、まず第一に久尻区内の県道土岐可児線の拡幅整備です。第二には駅前区内の県道河合多治見線の拡幅整備が挙げられます。前者については、通過車両の為に言うより五斗蒔地内の子供達の通学路確保の為に、また朝の渋滞解消の為に国道19号線出口のところの拡幅も急がれます。後者については、この道路は都市計画道路(新土岐津線)といいますが、市では土岐市駅より西へ九五〇メートルの間を重点地区として定めています。言い方が悪いかも知れませんが、「駅前地区に對して、市が初めて本腰を入れる事業」と言っても過言ではないような大事業となります。以上の二つを最重点施策として取り組まさせて頂きたいと考えています。いずれの事業とも地権者の

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、各区各町での課題はそれぞれ沢山あることと思いますが、県議の立場で泉町の大きな課題を挙げるとすれば、まず第一に久尻区内の県道土岐可児線の拡幅整備です。第二には駅前区内の県道河合多治見線の拡幅整備が挙げられます。前者については、通過車両の為に言うより五斗蒔地内の子供達の通学路確保の為に、また朝の渋滞解消の為に国道19号線出口のところの拡幅も急がれます。後者については、この道路は都市計画道路(新土岐津線)といいますが、市では土岐市駅より西へ九五〇メートルの間を重点地区として定めています。言い方が悪いかも知れませんが、「駅前地区に對して、市が初めて本腰を入れる事業」と言っても過言ではないような大事業となります。以上の二つを最重点施策として取り組まさせて頂きたいと考えています。いずれの事業とも地権者の

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、各区各町での課題はそれぞれ沢山あることと思いますが、県議の立場で泉町の大きな課題を挙げるとすれば、まず第一に久尻区内の県道土岐可児線の拡幅整備です。第二には駅前区内の県道河合多治見線の拡幅整備が挙げられます。前者については、通過車両の為に言うより五斗蒔地内の子供達の通学路確保の為に、また朝の渋滞解消の為に国道19号線出口のところの拡幅も急がれます。後者については、この道路は都市計画道路(新土岐津線)といいますが、市では土岐市駅より西へ九五〇メートルの間を重点地区として定めています。言い方が悪いかも知れませんが、「駅前地区に對して、市が初めて本腰を入れる事業」と言っても過言ではないような大事業となります。以上の二つを最重点施策として取り組まさせて頂きたいと考えています。いずれの事業とも地権者の



市議会議長
 久米要次

市町村合併。どうして？

地方自治制度は、平成12年の地方分権一括法の施行により、基礎自治体として地域において包括的な役割を果たしていくことが求められていくことが期待されており、都道府県は、経済社会活動が広域化する中で、広域自治体としての自立的発展のために戦略的な役割を果たすべく変容していくことが求められています。

また、地域においては、コミュニティ組織、NPO等のさまざまな団体による活動が活発に展開されており、市町村は、これらの動きと呼応して新しい協働の仕組みを構築することが求められている。

簡潔に言えば、国・県は基礎自治体(市町村)の規模・能力に依りて事務や権限を委譲するべきであり、少なくとも、福祉や教育、まちづくりなど住民の身近な事務については、基礎自治体で処理できる体制を構築する必要があります。

以上の様に国・県が求めている基礎的自治体(市町村)のあり方に対し、土岐市としてはどのように対応すべきかを考え、合併の是非を協議すべく3市1町の法定合併協議会(平成14年7月)を立ち上げ、合併が必要なのか、又合併したらどのような新市を創るのかを協議してまいりました。合併協定項目の協議もほとんど終了し(広報土岐・3市1町合併問題特集号参照)、市民の皆さんがまちの将来を決める大事な投票方式による住民意向調査を実施することになりました。一人でも多くの投票を心から願っています。

*私は合併すべきだと

1/1 歩け歩けこ社会
 11 出初式
 ・土岐市連合自治会連絡協議会評議員会
 12 成人式
 13 市自治連理事会
 14 第9回三役会
 15 声かけ運動
 17 連合区会新年会
 19 福祉施設の視察
 23 地域福祉計画策定住民座談会

平成15年度 事業報告



「和して同ぜず」



金津 保

■人の一生はせいぜい百年ほどのこと。そう思うと、肩の荷がふつと軽くなるのを感じる。

信念に基づいて突き進んできたことへ向けられた自分へのさまざまな評価にこだわり、右往左往することはないのだ。

■孔子の言葉に次のような一節がある。

君子和而不同 小人同而不和

私の座右の銘としている言葉だが、「君子は道理に従って仲良くするが、道理に合わないことに対してははつきり」と意見を言い、むやみに賛同はしない。これに対して小人は不和雷同はするけれど、真の調和はしない」というのである。

■今、合併協議が大詰めにかけている。私は、変えようにもなかなか変えることのできないこの町の空気に、新しい息吹を吹き込むことになるのではとの期待をこめて、チャンスと捉え考え行動してきた。と同時にあまりにも市民意識とかけ離れたまま、上意下達、何かなんでも期限までに合併をという進め方には違和感を感じ、そのことについては発言を重ねてきた。

■「和を以て尊しとなす」ともいう。もとより人は、誰とも仲良く協調しな

激動の平成十六年を迎えて



布施 素子

ばならない。しかしそのために是非は、是非は非というはつきりとした態度を持つという大前提が必要なのである。仲良くするために本旨を見失い、いつの間にか「和して同ぜず」、ことを優先させ主体性なき無定見な妥協で、仲良く集団になつてしまふことは厳に戒めなければならぬのだ。

合併を推進する議員連盟というものがある。先頃「おつき合いだからとの理由」でそれを名を連ねた議員がいた。名を連ねることはいい、しかし、その理由を聞いたときは唖然とした。

■意向調査において、賛成、反対に加えて、その取り扱いが注目され土岐市では見解により市長や議会に付託されたものと考えられるとされたもう一つの選択肢「どちらともいえない」には、いったいどれほどの丸印が付されるのだろうか。

■この調査に先駆けて実施された高校生からのアンケート記述に、若者らしい感性をうかがわせる意見を見つけた。

「この投票の結果を真剣に参考にするという姿勢や熱意が感じられない。結果はどうあれどうせ合併するんだらう」という感じがする。若者たちはしつかり見透かしているのだ。

みなきまおひとりおひりのいとなみは別にして、平成十五年は、合併問題の検討に明け暮れました。平成十六年は、激動の年となりそうなき感じがいたします。

一月二十五日、私達が住むこの町の将来を決める、三市一町合併に関する住民意向調査がおこなわれます。賛否どちらを選ばれても、私達は、歴史的な決定を下す瞬間にたちあうわけですが、近年、少子高齢化が言われ続けていますがなかなか実感できなかったのか、わかつていつともそこを向くはず様々な課題の解決を先送りし続けてまいりました。国をはじめとしてです。

私達議員になってからは勿論私なりに、一生懸命取り組んできたつもりですが、そんな中での実感として、究極的にはこの合併自体大きな解決策の一つではあり得ると思えます。

しかしこのように急いで市民が納得のゆかない部分を多く残しながら合併をなすとげる必要があるかどうか、私自身は大きな節目にたちあう者の一人として又皆様から御支援をいただいている立場の者としても判断に迷い、その点を正直に皆様にお知らせしてまいり

ました。この町に生まれ育つ子供達の将来を考える時、これから日本はどんな方向に進もうとしているのか、国の政策に地方分権の進んでいない現在、財政面のみならず、すべてにおいて大きく左右される地方自治体にあつて、わが愛するこの町の将来を決める為、私達ひとりひとりが、大きな責任を持つているのだと思えます。さて泉町では今大きな事業が進行中です。土岐川復築関連工事はじめとし、二十一号線沿い美濃焼団地入口に道の駅、泉小学校の改築、更には、泉公民館建替や泉西児童センター建設、県道土岐可児線、新丸石橋、池の上交差点迄の改良、そして町民が一番心を痛めている土岐市駅周辺の整備など課題山積ですが、町をあげて取り組むべく努力しております。

議員活動と

土岐市の未来



山内ふさよし

泉町の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年中は、私達泉町議員に多大なるご支援御協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

私は、昨年四月に皆様ののおかげで市議会に送らせていただき、現在文教厚生常任委員会、研究学園都市対策特別委員会の委員として議会活動をしております。

現在の活動は地域の皆様の要望に答えられる様市役所の担当課への働きかけや資料作り、又私の思いであります明るい子供づくりの為に子供たちがのびのびと成長するのを願いスポーツ施設等を充実するために調査研究をして担当課に要望活動をしております。

九月議会におきましては、一般質問にて不登校児童生徒支援者の活動時間の充実を要望し担当課におきましては速やかに対応して戴きました。

又スポーツ施設の充実等の質問に於きましても前向きな答弁を戴きました。現在土岐市に於いて非常に重大な事項は三市一町の合併問題です。

現在の土岐市の状況では合併してもしなくても変わりは無いのではと言つて意見が多く聞かれますが現在の

国のおかれた財政状況では十年後の土岐市の将来を考えた時、合併も視野に入れた構想も考えなくてはなりません。

今行われます住民意向調査投票は、投票対象者が十八歳からですので対象者の未成年の家の方は家族で土岐市の将来について話し合い必ず投票に行かれます



小栗 恒雄

急増する犯罪に 住民による自主的な 防犯組織の立ち上げを。

平成十六年を迎えるにあたり、国内外とも平穏無事であり、日本の景気も回復し、地元経済の発展とともに、泉町の皆様のご健勝を、心からお祈り申し上げます。

平成十五年を振り返れば、春は県会議員の統一地方選挙、秋は衆議院選挙と慌ただしい選挙の年でもありました。

地場産業の景気は依然として厳しく、経済の二極化が一層進んだ、一年でもあつたと思えます。三市一町合併問題も佳境に入り、一月二十五日に、住民意向調査が実施されま

す。私は、将来を見据えて考えれば、三市一町合併は重要な選択肢の一つと考え

よう重ねてお願いいたします。これからの議員活動につきましては、市民の皆様方の、意見等をいたたき土岐市の将来発展の為に日々勉強精進し努力いたす所存です。

泉の自治会より出されております要望等は、泉議員一同、力を合わせて実現に向けて努力を致しますので皆様方のご支援と御協力をお願いいたします。

しかし、投票方式による住民意向調査は非常に重い民意と考えています。その調査結果次第では、状況が大きく変化することも予想されやす。

日頃より警察や地域安全指導員さんにより、住民の安全にご尽力いただき感謝申し上げます。

しかし、最近の泉地区の犯罪発生件数は異常なものがあつて、昨年の一月から九月までの犯罪件数は、土岐津駐在所(泉地区を含む)刑法犯総数五百九十五件前年対比十五％増、定林寺交番の刑法犯総数九十三件前年対比二十五％増です。また警察から土岐市駅前を中心とした、青少年の犯行が多いとの指摘です。

泉地区の犯罪件数は、多治見署管内の三市一町の中において、他地区を抜いて急増しています。そんな中でも、警察官の増員はで

きず、犯罪検挙率七十％近くあつたそうですが、現在の検挙率は残念ながら三十％台に落ち込み、日本の安全神話は崩れています。

本来は自治会が自警団の役割を担つていましたが、戦後永きに亘り町内の平和が保たれていたため、いつしか防犯組織としての性格が薄れていきました。そんな折、先進的自警組織が久尻地区にあると聞きしています。その自警組織を参考に、犯罪者が最もいやがる住民同士の信頼感と連帯感を深め、住民が一致団結し「犯罪は許さない」という姿勢の街づくりが必要と思われま

住民による自主的な防犯組織が立ち上げのため皆様お一人お一人をはじめ、各種組織団体等の、力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成16年 事業予定

- 2/2 女性部役員会
- 土岐市連合自治会連絡協議会評議員会
- 10/ 新役員の締切り
- 16/ 声かけ運動
- 第10回三役会
- 中旬・タオルの配布
- (学校・各種施設等に)
- 21/ 第10回連合区会
- 3/7 初午祭
- 久尻神社 白山神社
- 14/ 初午祭 定林寺